

校長室だより

中 緑 鷹



第 2 号

令和 7 年 4 月 9 日 (水)

〔発行者〕 三苫 淳一

スローガン：○凡事徹底で生活の基礎固め～基本的生活習慣のレベルアップ

○全力燃焼～過程（プロセス）重視

新しく本校に赴任した先生方を紹介します。（本人の自己紹介文です）

中津市より参りました、教頭の吉田けんやといいます。大山は大変きれいで美しい山と川に囲まれた地域で良い所だなと思いました。日田焼きそばも大好きです。1年間どうぞよろしくお願ひします。



7年生担任の姫野融子です。教科は保健体育です。部活はバスケットボール部です。心身ともに大きく成長するこの時期に少しでもその手助けができたらと思っています。これからよろしくお願ひいたします。



今年度より養護教諭として勤務することになりました、堤美帆です。子どもたちの健康を守れるように精一杯がんばります。日田の街もこれからたくさん知りたいです。よろしくお願ひいたします。



新8年担任の梶原健二です。教科は英語、部活は卓球部です。日田で生まれ育ち、高校卒業と同時に長らく日田を離れました。今から3年前、教員になることができ、約35年ぶりに帰郷しました。大山町は美しいと思います。



7年生副担任の伊藤由菜です。教科は音楽、部活は吹奏楽部です。旅行や食べることが大好きです。音楽の授業をとっても楽しみにしています。1年間よろしくお願ひします。



春休み中に興味津々で職員室をのぞきに来た生徒もいましたが、新たに5名の先生を迎えました。どの先生も大山町での勤務は初めてで、日田での勤務そのものが初めてという先生もいます。日田の魅力・大山の魅力を存分に味わいながら勤務して欲しいと願っています。素直な子どもたちに協力的な保護者や地域の方が大山の地域性であり魅力だと伝えてあります。職業柄、異動は仕方のないのですが、転出された先生方のように、「大山を離れたくない」と思われるかもしれません。

サブグラウンド（施設案内板のそば）に2本のオリーブの木が植えられているのをご存じですか？大山町はイスラエルのメギド町と姉妹町を結び、昭和44年からは31年間にわたり、キブツ（農業を中心とした共同体）研修を行うなど、交流を行ってきました。都市合併により研修は終了しましたが、研修生OBを中心となり小学6年生を対象に「文通プロジェクト」をスタートさせ、イスラエルとの交流授業を行ってきた歴史があります。

イスラエルの建国60周年に合わせ、イスラエルとの友好を記念して、キブツ研修生代表、公民館、小学校が中心となった実行委員会に加え、イスラエル大使館員も参加して、「平和の木」「繁栄の木」と名付けられた2本のオリーブの木が、当時のひびきの郷に植樹されました。獣害もあり、令和3年に現在のサブグラウンドに植え替えましたが、うまく育たず枯れてしまいました。状況を見かねた当時の実行委員であり、交流授業を行ってきた横田秀喜さんと、植樹にずっと関わってきた清瀧毅さんのご厚意により、4月5日に新たに植え替えられました。

来校の際には、ぜひご覧ください。



繁栄の木



平和の木